加津佐小学校　学校だより　　第４号
令和７年５月９日
文責　校長　山本 孝二

白砂青松の地で

【学校教育目標】
“ かしこく　つよく
さわやかに　伸びゆく子 “

地域（ふるさと）学習もスタート！（孝子祭・お茶づくり体験…）

４月24日（木）、5年生が『孝子祭』に参加しました。

４年生の時から、孝子祭の学習（安永安次さんのお話や継承されてきたこと等）、「孝子の歌」の練習、そして役割分担をして練習を行い、当日式典に出席しました。

式典に参加した子供たちは、地域に受け継がれてきた行事と関わる方々の思いに触れることができました。代表児童が述べた祭文、大きく伸びやかな歌声に、地域の人からお褒めの言葉もいただきました。

伝統的行事に参加する機会、緊張の中でも表現する場は、子供たちを成長させますね。

５月１日（木）、3年生が山口地区でお茶づくり体験をしました。これも50年以上続く伝統的な活動です。

子供たちは新芽の「茶摘み」から「茶煎り」そして「茶揉み」まで体験できました。事前に指導をしていただきましたが、やはり実体験は違います。自分が関わったお茶を飲むことで忘れられない体験になったことでしょう。

今年度も全学年で地域学習を進めていきます。そうして、ふるさと加津佐のコト・モノ・ヒトを『知る・考える・行動する』機会にしていきたいと考えています。ご協力をお願いすることもあると思います。どうぞよろしくお願いします。

異学年交流（縦割り活動）がもたらすもの

朝活動に時間に、「縦割り班遊び」、「赤・白組の顔合わせ（運動会）」を行いました。6年生が下級生を楽しませるために、また、大きな行事でリードしていくために実施したものです。昨年度の3学期を『6年生0学期』としてよい備えをしてきた6年生が、今戸惑いながらも説明や発表する姿に、責任感やリーダーとしての高まりを少しずつ感じうれしく思います。

縦割り活動は思いやりの心と行動が無くては進みません。他者と認め合う場とするためにも、今後多く取り入れていきます。下級生が上級生を見習うようになるのも楽しみです。

運動会のスローガンには『協力』の言葉もあります。競い合いの中にも、誰かと何かを成しとげる体験をしてほしいと考えています。